

# ななむら

第79号

発行：照来地区公民館

責任者：館長

☎ 92-1738

令和4年1月1日現在

世帯数 521世帯

人口 1,436人

(男673人、女763人)

## 今年は『寅年』色んなことにトライ!

照来地区の皆さま、今年も早いもので1ヶ月が経とうとしています。今年も残すところ11ヶ月です。(笑)  
昨年、コロナに翻弄され何事にも充分とは言えない年となりました。今年こそは思っていた矢先にオミクロン株の感染が拡大し、先行き不透明な状況となっています。公民館事業も限られたものとなりますが、こんなときだからこそできることは必ずあると思います。本年も皆さまの格別なるご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

さて、今年は十二支の3番目の寅年です。十二支というのは、もともと植物が循環する様子を表しており、その年の特徴につながるというわけです。1番目の子年(ねどし)に新しい命が種の中で芽生えはじめ、2番目の丑年(うしどし)は種の中で育つのですが、まだ伸びることができない状態です。3番目の寅年(とらどし)は、春が来て根や莖が生じて成長する時期、草木が伸び始める状態だとされています。

新しい芽が「成長する」ということは、新しい日常が「始まる」と言えるのではないかと思います。新型コロナが終息し、いつもの日常に戻る年になって欲しいものです。虎にまつわることわざに『虎穴に入らずんば虎子を得ず』があります。これは「虎の棲む穴に入らなければ貴重な虎の子を得ることができないため、何事も危険を冒さなければ成功を取めることはできない。」というたとえです。

皆さん、何もしなければ何も得られません。今年「寅年」色んなことにトライしましょう!



## 干支は「十干」と「十二支」の組み合わせ

以前にも掲載しましたが、干支とは、本来「十干十二支(じっかんじゅうにし)を略した呼び名で、「十干(じっかん)」と「十二支(じゅうにし)」を組み合わせたものです。

「十干」とは、甲(こう：きのえ)、乙(おつ：きのと)、丙(へい：ひのえ)、丁(てい：ひのと)、戊(ぼ：つちのえ)、己(き：つちのと)、庚(こう：かのえ)、辛(しん：かのと)、壬(じん：みずのえ)、癸(き：みずのと)の総称で、もとは1から10までのものを数えるための言葉です。

「十二支」は、子(ね：ねずみ)、丑(うし)、寅(う：うさぎ)、辰(たつ)、巳(み：へび)、午(うま)、未(ひつじ)、申(さる)、酉(とり)、戌(いぬ)、亥(い：いのしし)と、その年を12種類の動物になぞらえたもので、年の他にも時刻や方角を表すことがあります。

2022年は、十干という「壬」、十二支では「寅年」となり干支は「壬寅(みずのえとら)」となります。



## 「甲子園」と名付けたのは干支が関係

今年「寅年」、「トラ」といえば阪神タイガースを思い浮かべる方が多いと思いますが、その阪神タイガースの本拠地である「甲子園球場」は、なぜ「甲子園」という名前になったのかご存知でしょうか?

「甲子園」ができたのは、1924年(大正13年)3月11日のことです。この年が十干(じっかん)、十二支(じゅうにし)のそれぞれ最初の「甲(きのえ)」と「子(ね)」の年という60年に一度の縁起のいい年であることから、「甲子園」と命名されたということです。

## お願い!

照来小学校では、現在「照来っ子4つの約束～あいさつ・返事、掃除、後始末、言葉づかい～がんばり運動」を展開しています。

こうした運動は、学校だけが行うても限られたものとなります。照来地域の多くの皆さまがこの運動に加わっていただくと成果が得られるものと考えます。ご協力をお願いいたします。



## 照来っ子4つの約束

- 1 あいさつ・返事をしましょう
- 2 掃除をしましょう
- 3 後始末をしましょう
- 4 言葉づかいに気をつけましょう

※子どもたちに会ったたら積極的にあいさつをするようお願いいたします!

## 照来の歴史(33)～疑問3～『平家の落人伝説』

照来地区公民館だより第62号で中辻の「神掛森」の伝説について紹介しましたが、その中に「むかしの言い伝えで、源平の戦いの時、敗れてその山に逃げ込んだ平家の人たちが死んでいるのではないか、ということです。」と書かれていたことを覚えていますか？

では、なぜ「平家の落人伝説」がこの照来にあるのでしょうか？

そもそも、「平家の落人伝説」とは、源平合戦(1180～1185)に敗れた平家一族が全国の僻地に逃げ隠れすみ「落人」として言い伝えられていることですが、この伝説は全国各地に数多く残っています。この近くでは、香美町御崎の落人伝説が有名ですが、もちろん新温泉町にも三尾や大味(境)、正法庵、高山等に伝承されています。

照来の落人伝説について調べていると、いくつかの史料に次のような記述がありました。

『「温泉城(ゆのしろ)」の城主奈良氏は、文治元年(1185)源頼朝が平家の没官領(朝廷に没収された平家一門の所領)及び謀反人跡に地頭を置き、平家の残党の搜索と共に自家勢力の浸透を図った。』と。その奈良氏の支配地域は温泉郷と枝郷寺木村(照来)、竹田村の74町6反半5歩と伝えられています。

ということは、照来にも平家の残党がいた可能性もあるということになります。

また、落人ではなく平家一門が源平合戦以前から住んでいたという史料もありました。「丹土の高尾山城は、平清盛の父忠盛の一族櫛太郎(矢倉太郎)が長承年間(1132～1135)に築城した。」と記されています。

一方で、但馬の平家落人伝説は間違いだらけだと言っ方もいます。

その根拠は「そうである明確な資料がないこと、言い伝えの臺石、神社などを調べても年代が200年もずれているもの、年代と事実が後先になってあり得ないものなどがある。」と言っています。

確かに調べて見ると、合わないことが多くあります。例えば、大味(境)に隠れ住んだとされる「小宰相局(平通盛の妻)」は、一の谷合戦後に亡くなったとされています。また、平清盛の弟経盛は、壇ノ浦の戦いで入水したとされていますが、鳥取の若桜町落折と兵庫の上郡町小野豆という集落に経盛が隠れ住んだという伝説が残っています。驚くことに落折集落全戸の名字が「平家」だそうです。

では、なぜ仮に平家落人伝説が真実ではないとしても、そう語り継がれているのかということになります。いくつかの理由があるようですが、一つには、僻地に住んでいるが、好き好んで住んでいるのではなく、自らは昔、貴人の子孫であり、平家の武将だったとしてその地に住む理由としたのではないか。まさに、そこに住んでいくための知恵だったのではないかとされています。どちらにしても謎です!



## 照来地区卓球大会中止!

毎年2月11日に「スポーツクラブ21照来」が開催しています「照来地区卓球大会」は、残念ながらも今年も新型コロナウイルスの感染拡大により中止とします。

## 「マント」を着て登校!

先日、同級生と一つ上の先輩で集まることがありました。そのとき小学校の頃の話しになり「吹雪の中マントを着て学校に行きよったなあ。」「長靴の中にワラを入れとったなあ。」「等昔話に花が咲きました。昭和30年代、冬季の登下校のことです。

吹雪の中、一人一人が通れるような一本道をやつと歩いて学校へ行くと、先生から「今日は休校です。」と言われ、また吹雪の中を帰っていったものでした。当時は電話もなく、除雪もしていない等今では到底考えられないことですが。



こうした吹雪のときに着ていたのが、マントでした。マントと言っても、今の子どもたちにはどんなものなのかかわからないと思いますが、言わば防寒着のことです。男の子は黒、女の子は赤のマントを着て、分厚く結構重かった記憶があります。

春來地区公民館だより



第 53 号

令和 4 年 1 月 20 日 発行

大寒に入り寒さが身にしみるこの頃でございますが、お変わりなく、ご健勝のことと存じます。平素より地区公民館活動にご理解とご協力いただき、心より感謝申し上げます。 本年も宜しくお願い致します。

12月1日(水)午後1時30分から  
つまみ細工教室を行いました。  
7名の方に参加して頂きました。  
約1時間半で仕上り、出来上がった  
作品に満足している様子でした。



今回は春に予定しております  
皆様の参加をお願いします。

12月13日(月) タチヤ池、改修工事現場説明会が行われ、  
県民局(土地改良センター)からと、ため池改修工事は減多にないので  
朝来市(土地改良センター)の方も視察に訪れた。





12月16日(木)午前10時から

いきいきサロンが  
行われ、体操後、カラオケ  
を行い楽しい時間を過ごした。

クリスマスの日に近いのも  
あってクリスマスプレゼントが  
用意されていて、  
参加者の皆さんが歓喜  
していました。



いきいきサロン、毎月第3木曜日10時から行っております。  
多数の皆様の参加をお待ちしております。

12月22日(水)午後1時30分から  
フラーアアレジメント教室が  
行われた。14人の方の参加があり、  
新年にふさわしい、花々を杉本生花  
店の方のアドバイスを受けながら  
見栄えの良い、色鮮やかな作品を  
仕上げていた。



1月7日、とんど焼き神事が行わ  
れた、各家に降りて来られた  
年神様を、正月飾り、しめ縄等を  
燃やして、炎と共に天に送ると  
いう意味合いの行事。

般若心経三巻唱え、五穀豊穡、  
無病息災、家内安全を祈願した。

# 1月号 はった

令和4年1月27日



## 積雪1メートルの地区公民館周辺

での期間に「まん延防止等重点措置の適用」が出されました。地域の皆様には、地域全体で協力してこの難局を乗り越えていきましよう。なお、八田地区公民館と八田コミュニティセンターの共催としてご案内しておりました2月29日（土）の「紙芝居『自作短編物語』と楽しいウクレレ歌謡ショー」も延期することになりました。楽しみにされていた皆さん、どうかご理解いただきまします。

お健やかに新年をお迎えのことで存じます。皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。昨年は、公民館の諸活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。今年も感染防止対策を十分に行いたいと考え、催しや講座の充実を図ってまいります。八田地区の皆様のご協力・ご支援をよろしく願いました。

さて、残念ながら収束傾向にあった新型コロナウイルス、兵庫県にも1月27日から2月20日までおり、兵庫にも1月27日から2月20日まで「まん延防止等重点措置の適用」が出されました。地域の皆様には、地域全体で協力してこの難局を乗り越えていきましよう。なお、八田地区公民館と八田コミュニティセンターの共催としてご案内しておりました2月29日（土）の「紙芝居『自作短編物語』と楽しいウクレレ歌謡ショー」も延期することになりました。楽しみにされていた皆さん、どうかご理解いただきまします。



## 新春書き初め会

新しい年が始まり、今年も令和4年1月5日（水）に「新春書き初め会」を八田コミュニティセンターにおいて開催しました。講師の先生は八田コミュニティセンターの大森利昭先生にお願いしました。参加された皆さんは講師先生が用意された多くのお手本の中から、自分の書きたい文字を選びながら書き初めました。また、先生が持参された「特大筆」で文字を書き初めたい方もありました。「新春書き初め会」は毎年実施している文化行事です。来年も計画します。是非ご参加ください。



講師の大森利昭先生



## 小谷先生の習字講座



1月20日に「小谷先生の習字講座第5回」を行いました。ひらがな文字を中心にご指導をいただいています。毎回から「八田地区文化祭」に向けての作品づくりに入りました。

講師先生より「百枚くらい書くつもりでしかかり練習して、自分独自の作品を仕上げてください。」と激励を受けて時間いっぱい熱心に取り組みました。

「先生のお手本を見ながらの練習から、いろいろな文字へ・・・」なかなか難しいですが、楽しさも感じながら集中して文字を書いておられました。2月の講座のときには、きつと素晴らしい作品が仕上がります。皆さん頑張ってくださいね。



## 「八田地区文化祭～趣味の日作品展～」のお知らせ！

文化祭作品募集チラシまでご案内しておりますが、本年も2月26日（土）から3月4日（金）までの期間『八田地区文化祭』を開催いたします。会場は例年と同じ八田コミセンです。

写真は昨年開催した文化祭のものですが、たくさんの方々に数多くの素晴らしい作品を出展していただき、多くの皆さんにご来場いただきました。コロナ禍で、この一年の作品づくりも大変ご苦労されたことと思いますが、その中で制作された作品を是非ご出展いただき、本文化祭が八田地区の皆さんの温かい心の交流の場になればと思っております。ご協力のほどよろしくお願いいたします。



### 2月の習字講座

日時：2月18日（金）  
午後1時半より  
講師：小谷明先生  
会場：八田コミセン  
※文化祭に向けて作品づくりです。

### 公民館の環境整備

※地区公民館（旧八田幼稚園）にネット環境が整備されました。研修会等で活用できまします。同時に防犯カメラも設置されました。

### 文化祭の準備について

※八田地区文化祭の準備を2月25日（金）の午後1時30分より行います。運営委員の皆さんには大変お世話になります。よろしくお願いたします。